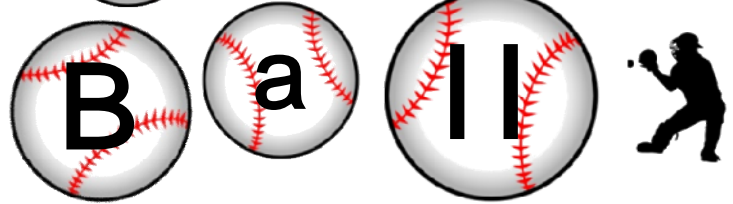




〒014-0054
大仙市大曲金谷町26-9
TEL:0187-63-2257
FAX:0187-62-3434
http://www.daino-h.akita-pref.ed.jp



キャッチボール ～地域に開かれた農場を目指して～



農場長(佐々木 惇)より

「地域全部が学習フィールド」

大曲農業高等学校では、金谷・大嶋両農場での体験学習と研究活動だけでなく、広く地域に出て学んでいます。小学校での出前授業と交流(藤木小学校)、大農産米あきたこまち「首都圏試食販売会」(東京都)、農業科学館ナビゲーター研修、就農促進のための視察研修会(大仙市中仙)、長期インターンシップ、保育実習・介護実習など学びの場は地域全体です。自分自身を高めるために、地域の多くの人びととの関わりを通して、広い視野と豊かな人間性の実現に向けて頑張っています。地域の事業所や関係団体の方々のご理解とご協力に深く感謝申し上げます。

水田部門

(担当: 藤井亨、高橋寿徳、佐々木尚人、黒田一久)

去る6月30日、大曲花火米の巡回指導が行われました。大曲花火米研究会や「A秋田おばこ」の方々約20名が本校大曲花火米圃場を訪れ、稲作部員2名とともに指導いただきました。



生育調査の結果としては、順調に生育しておりこの調子で栽培を続けて欲しいとのことでした。また、3年課題研究作物・マーケティングの生徒が昔ながらの除草機を苦勞しながら押してくれたおかげで、他の圃場と異なり、有害なガスの発生が少ないとのことでした。

今後も除草作業や畦畔の草刈りなどをこまめに行い、良質な大曲花火米の生産に取り組みます。

小家畜部門

(担当: 田口健一、佐藤晴輝)

暑い日が続いていますが、ニワトリたちは元気に卵を産んでくれています。2年鶏は現在、強制換羽の真っ最中です。そのため産卵数は少なくなります。その分、若い1年鶏に頑張ってもらいたいと思います。

強制換羽とは一時的に給餌を中断し、人工的に換羽を起こさせることです。強制換羽を行うことによって、卵殻質が改善され、採卵期間を延長させることができます。

大家畜部門

(担当: 佐々木惇、佐藤晴輝)

秋田県学校農業クラブ連盟「家畜審査競技会」を前に、6月24日(水)家畜審査競技会に向けた学習会に参加しました。家畜審査競技会は、牛の外貌や触診により優れた牛を見極める競技で、当日は、秋田県畜産試験場の方々から、牛の見方・触診方法・審査ポイントなどを学んできました。

家畜審査競技会は、7月18日(土)にあきた総合家畜市場で「肉牛の部」・「乳牛の部」に分かれて行われます。本番まで残りわずかです。「モウ」勉強中!

中家畜部門

(担当: 守屋拓、佐藤潤之介)



さなぶりの豚汁はいかがでしたか。二頭の大さに差があったので食感も鍋によって幾分異なっていたように思います。さて、豚舎内は現在2頭の母豚のみとなりました。先日、一頭の母豚に人工授精を行ったので順調にいけば9月の頭には子豚が生まれる予定です。また、夏の時期は病気が蔓延しやすい時期なので踏み込み消毒の徹底にご協力をお願いします。感染予防のため牧場等に行った際はお知らせ下さい。

只今、私()の名前を募集中です!

花卉部門

(担当: 平塚祥広、山代和也)

「こまちグリーンドレス」秋田県農業試験場で作出(育成)された秋田県独自のオリジナルブランド品種です。大農の花弁ハウスでは今年度トルコギキョウ(グリーンドレス)を試験栽培中です。現在花芽(つぼみ)が膨らみ、間もなく開花を迎えることになりそうです。学校の直売所などで販売しますのでぜひご覧ください。出典: 秋田県農業試験場



果樹部門



(担当：佐々木孝之、佐藤農)

モモの早生品種、「日川白鳳」です。晴天続きで玉伸びがしておらず、小さめです。反面、糖度が高く甘いモモになると思います。収穫時期は7月下旬を予定しています。農産物販売所でお買い求めください。(小さめですが…)



野菜部門



(担当：古戸毅、和泉有紗、富樫久雄)

7月11日(土)本校農場にて大仙地区のALT6名をお迎えして野菜の栽培講習会を行いました。野菜部生徒、野菜専攻生徒6名が先生役となり、エダマメ、オクラ(緑・赤・花)、ヤーコン、カボチャ、ズッキーニ、サツマイモの8品目を定植しました。英語による技術指導は難しく、苦戦しながらも一所懸命、楽しくコミュニケーションを図りました。炎天下の中での作業、お疲れ様でした。今後の生長が楽しみです！



食品加工部門



(担当：伊藤寿人、三嶋登忍)

6月11日(木)に行われた「早苗振」の豚汁を「家庭総合」と「食品製造」の生徒と食品加工部員で準備しました。前日までの2日間でごぼう、だいこん、ジャガイモ、ニンジン、キャベツ、長ネギ、たまねぎ、高野豆腐、コンニャクを調理しました。大曲農業高等学校の豚汁に何種類の食材があるか分かりましたか？以前はジャガイモではなく、この時期に価格の高価なサツマイモを食材としていました。本年度もテレビ局と新聞社の取材があり、美味しそうに豚汁を食べる様子が放映、掲載されました。調理方法を指導してくれた生活科学科の先生方、豚を育て肉を提供してくださいました畜産部門の方々、味噌の麹用米を提供してくださいました水田部門の方々、ありがとうございました。伝統の「豚汁」は多くの方々の協力で継承されています。

来年の豚汁に使用する味噌の発酵を調整する切り返し作業が7月より始まります。



林業部門



(担当：照内尋之、守屋拓)

- (1) 2学期以降、本校の演習林である「仁心寺演習林」を中心に実習が展開される予定です。
- (2) 7月1日(水)に仙北地域振興局森づくり推進課の主催による林業インターンシップ事業が本校生徒を対象に実施されました。午前中は高性能林業機械実習、午後は測量と毎木調査が行われ実践的な実習をさせていただきました。これらの活動が実りある進路に結びつくことを願っています。
フォワーダ：材の運搬機 グラブプル：材を掴む機械 ハーベスタ：材を伐採する機械
- (3) 1年生のみなさんへ。科目選択の参考までに環境緑地系の森林・林業についてお知らせします。本来林業とは木材生産を中心とする産業と捉えられていましたが、今では水源涵養や土砂防備機能など公益的機能の充実も注目されています。授業ではきのこづくりや樹木の伐採や測定など専門的な学習をします。また公務員林業職の受験にもチャレンジできます。ただし、授業の中では実習だけでなく座学も多く、特に数学や化学など難しいところもありますが、ぜひ林業系を選択してみたいかですか？最近では、秋田県林業大学校も開設され、林業も盛り上がっていますよ。



生物工学部門



(担当：大沼克彦、大坂淳、照井豊和、小林和成)

先日行われた秋田県学校農業クラブ連盟各種発表会において、生物工学部の「あのすばらしい湖をもう一度～田沢湖から水環境の大切さを学ぶ～」をテーマとしたプロジェクト発表が最優秀賞となりました。今後も外部機関と連携し、分析依頼をしたり、田沢湖の湖底調査を行ったりと、東北大会に向けさらに研究を進展させて行く予定です。これらの成果は、学校祭などでまた皆さんに発表という形で報告したいと思います。